

使用方法

水に簡単に溶けますので、目的に応じた濃度に希釈して施用してください。

オスマック標準濃度

1,000 ~ 2,000倍

(注意事項)

1. 他剤との混用の場合は、混和性・効果等を確認のうえ使用してください。
2. 混用の場合、あらかじめ所定濃度に調整した散布液にオスマックを加えて充分攪拌してから使用してください。
3. 高温時の日中散布は、障害がでる場合もありますので避けてください。

成分・性状・包装

- 成分：高級アルコール系界面活性剤
- 性状：透明液体
- pH：6.5±0.5(1%液25°C)
- 包装：500ml×30本/ケース

安全性

- 安全性：普通物
- 魚毒性：A類
- 皮膚刺激：なし

地力増進法政令指定 土壌改良資材 EB-aとの混用

- ◆ 土壌改良資材 EB-a は、土壌の団粒形成を促進し、土壌の物理性（透水性、通気性、保水性、保肥性、膨軟性）を向上させます。
 - ・ 透水性、通気性の向上により、根圏土壌への新鮮な水や酸素の供給が容易になり、根の生育を促進します。
 - ・ 保水効果により、灌水効果が向上し、根の乾燥害を防ぎます。
 - ・ 保肥性の向上により、施用した肥料が効率良く芝生に吸収されます。
 - ・ 膨軟な土壌になるため、芝生の根張りが良くなります。
- ◆ オスマックとの混用は、オスマックの持つ浸透力との相乗作用により、土壌深くまで、くまなく土壌改良を行なうとともに、芝生の発根と生育を促進し健全なターフを育成します。
- ◆ EB-aの希釈液に、オスマックを1,000~2,000倍となる様に加えて散布液を調整してください。

 林化学工業株式会社

☎601-8357 京都市南区吉祥院石原堂の後西町31番地
電話 (075) 681-8331(代表)
ファクシミリ (075) 681-8334
久世研究所 京都市南区吉祥院石原堂の後西町26番地
電話 (075) 661-3171(代表)

取扱店

日本エキセル工業株式会社
本社 東京都中央区新富町1-1-1
電話 (03) 5561-1111

S. 99. 1. 3000.

どんな土壌もすみやかに
湿潤し、浸透する！

土壌浸透活性剤

オスマック
Osmac

HAYASHI CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.

いま ターフは……

- ◆ 植生密度の高い芝生におおわれている芝地は、農耕地や森林に比べて灌水や降雨の土壌中への浸透はきわめてゆるやかです。
- ◆ 灌水や降雨の多くは、表層に停滞したり、表流水や蒸発水となって失われています。
- ◆ 土壌への水の浸透が悪いと、単に植物の水ストレスの問題だけでなく、農薬や肥料等の土壌への浸透も悪くなります。
- ◆ 施用効果に影響するだけでなく、流亡による環境汚染にも関わる重要な問題です。
- ◆ 次のような、水の浸透をさまたげる要因が重複して、芝地における水によるトラブルが発生しています。

- 1 地表をおおう芝草茎葉の撥水性や、サッチ等の集積により疎水層が形成されています。
- 2 土壌中に生息する、多くの微生物(細菌・糸状菌・放線菌)、小動物、昆虫は体表に疎水性構造を持っていたり、疎水性物質を分泌したりしています。
- 3 土壌も、通常親水性の微細な粘土粒子が、ある含水率以下の乾燥状態になったとき疎水性に変わり、水では湿潤しなくなります。
- 4 プレイヤーや管理機械などの踏圧による土壌の圧密化も、不透水層の形成を助長しています。



オスマックは

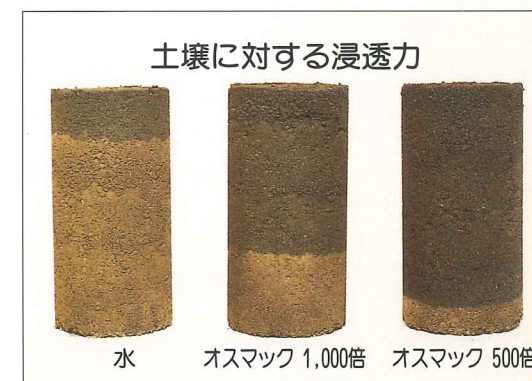
土壌を構成しているあらゆる物質の表面に、強い水親和性を与え、芝地が抱えている水トラブルを解消します。

- 土壌への水の湿潤・浸透が容易になり、停滞水や表流水による水のロスがなくなり、水収支が大巾に改善されます。
- 土壌中の粘土粒子や有機物・微生物・小動物等の持つ疎水性物質を湿潤・浸透し、土壌の微細な孔げきまでくまなく、酸素をたっぷり含んだ新鮮な水を送ります。
- 土壌が乾燥していても、すみやかに湿潤・浸透します。
- 再湿性があるため、施用後の灌水や降雨がすみやかに浸透します。

~~~~~ オスマックの特長 ~~~~~

1. 芝草の水ストレスを解消する

- 新鮮な水が深くまで、くまなく浸透するので、根も深くまでのびて、乾燥害に対する抵抗力が増加します。
- 水ストレスを受けない芝草は、病害や環境に対する抵抗力が強くなります。
- 土壌の保水性を向上しますので、特に夏場には灌水効果に威力を発揮します。
- しずみ症やドライスポットのような、土壌の乾燥が影響する障害にも、効果を発揮します。



2. 土壌微生物の菌叢を湿潤する

- 病原菌やフェアリーリング菌叢のような不透水層にも、湿潤・浸透しますので、層の中や下まで水や薬剤を供給できます。



3. 潜土性害虫の体表を湿潤する

- 薬剤の土壌中への湿潤・浸透を助け、害虫の体表を湿潤させます。土中深く生息している潜土性害虫にも湿潤作用を発揮します。

4. 管理作業を省力化する

- 朝露や霜がつきにくなり、除去作業が要らなくなります。

5. 安全な土壌浸透活性剤

- 土壌中の有用微生物には影響がないため、土壌微生物相の攪乱はありません。
- 人体や家畜、植物に害はありませんので、安心して使用できます。

